



「水の息吹（須磨離宮公園）」 絵画ボランティアグループ 美工 28期 和田 早苗

—目次—

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 2 | 開校30周年記念特集：学長挨拶 祝辞 山口先生・斉田先生・赤松先生 |
| 3 | 開校30周年記念特集：開校から30年のおもなできごと |
| 4～7 | 第28回学園祭に向けて |
| 8 | 教室だより：食文・音文 |
| 9 | 先生インタビュー：生環 川上先生・園芸 久山先生 |
| 10～11 | サークルだより |
| 12 | グループわだより ジョイフルッキング |
| 13 | 文芸サロン：俳句・川柳・応募作品 |
| 14 | トピックス：混声合唱団コーロKSC・卒業生に聞く・他 |
| 15 | 事務局だより 図書室だより 編集後記 |
| 16 | Photo News：情報誌「爽風」の表紙にみる30年の歩み |

情報誌編集委員会では、カレッジ内外の活動も含めて写真・記事の投稿をお待ちしています。

「爽風」への情報提供・ご意見は、次のホームページ「お問い合わせ」からお寄せください。

<https://ksc-sofu.net/> スマホからは右のQRコードを読み取ってアクセスできます。



神戸市シルバーカレッジ 開校30周年記念特集



1993年9月21日、神戸市シルバーカレッジは高齢者に学習及び実践の場を提供する生涯学習施設として開校しました。「再び学んで 他のために」というモットーにより、高齢者は豊富な経験を活かし、自らの可能性を拓(ひら)き、その成果を社会に還元することを目指し、学んでいます。今年で開校から30年、この記念すべき節目の年に学長をはじめ、開校以来シルバーカレッジで講師を務められている3人の先生方にご寄稿していただきましたので、ご紹介いたします。

開校30周年記念特集によせて 学長 前田 潔



神戸市シルバーカレッジ (KSC) はH5年に開校して今年で30周年を迎えました。この30年間でKSCは1.2万余人の入学者を迎え、9,100人以上の卒業者を出し、現在801人の在校生が属しています。本校の歴史についてはR3年に書籍が出版されており、おかげさまでよく読まれていると聞いています。

この30年間の本校にとっての最大の出来事は阪神淡路大震災と新型コロナウイルスの感染拡大でした。いずれの時も休校をやむなくされました。現在の本校の課題は入学者の減少と中途退学者の増加です。なぜ入学者が減少し、中途退学者が増加してきたのか、30年間の入学者数と卒業率でみてみたいと思います。H5年以降、本校の入学者定員は440人で、入学者数は開校からH23年度まではほぼ420人を切ることはありませんでした。それ以降もR2年に新型コロナウイルスの感染拡大が始まるまでは400人前後が入学していました。コロナ禍の4年間は300人前後の入学者が続いています。以上のように入学者においては、パンデミックを除けばH23年と24年の間にひとつの変化があったようです。パンデミックが収まって、少

なくともパンデミック前のように400人の入学者が確保できるかどうか気をもんでいます。

一方、卒業者の入学者に対する割合、卒業率は開校以来、震災の一時期を除いて80～85%でした。ただパンデミックの始まる前年、R元年度の卒業率（H29年度の入学者の卒業率）は76.1%と震災以降はじめて80%を割っています。またR2年度以降の卒業率は67%前後となっています。卒業率が入学者の80%を大きく割るという現象はH30年度の入学者から始まっています。これはパンデミックだけでは説明がつかえません。卒業率に関してはH29年と30年との間に大きな変化がみとれます。中途退学者をできるだけ減らすということも本校にとって重要な課題と言えます。

以上のように本校ではH24年ごろから入学者が減少に転じ、H30年ごろから中途退学者が増加してきたとみることもできます。その理由の説明にはいくつかの要因を挙げることができるかと思っています。退職年齢や年金支給開始年齢の高年齢化など、本校に入学を希望する高齢者を取り巻く環境の変化をあげることができます。またわれわれカレッジの改革努力の不足も当然あるでしょう。今後、いろいろ工夫を重ね、高齢者にとって魅力的なカレッジに改革していきたいと考えています。

神戸大学名誉教授 山口 泰雄



神戸市シルバーカレッジに来るきっかけは、1994年のNHK「土曜フォーラム」に出演したことでした。事務局の方がご覧になって、生涯スポーツに関する講義依頼が届きました。

『あれから30年』、今も元気にローンボウルズやウォーキングの実技指導、そして“アクティブライフ”や“健康づくり”などの講義を続けています。

30年間のシルバーカレッジにおいて、1万人以上の元気な学生さんとの出会い、ふれあい、学ぶことができました。2011年にスタートした「神戸マラソン」に関わっていたことから、当時の学生さんから『神戸マラソンのコースジオラマ』を寄贈していただき、今でも実行委員会事務局に飾られています。シルバーカレッジは、キャンパス・カリキュラム、講師・学生の質、活動内容、すべてにわたって“日本一”と誇りに思っています。初代今井鎮雄学長の『再び学んで 他のために』のモットーと社会貢献活動も生き続けています。

指揮者 斉田 好男



神戸市シルバーカレッジ開校30周年おめでとうございます。当初はご年配の方々に、どのような内容、話し方をし

たらよいか、戸惑いもありましたが、「世の中に音楽を啓発する(音楽に親しんでいただく)姿勢でお付き合いしてまいりました。生涯学習の場は多々ありますが、KSCは特にしっかりした機関(事務局含め)、講師陣、その結果学生さんたちも…私の感想です。その優秀な方々のおかげで、私自身も楽しく勤めてくることができました。多くの講師の方々のご紹介に関わりましたが、口を揃えて「ここで講義(演奏)するのは気持ちが良い」と言われます。学生さんの講師を見る目が輝いているから…音楽は特に会場の熱気に呼応してステージも熱くなるものです。「スポーツや芸術活動はおなかをいっぱいできなくても、人間の心を豊かにするもの(リベラルアーツ)」です。今後もカレッジが良き人材を育てていく素敵な場として、発展されることを心から願います。

陶芸家 赤松 真木



シルバーカレッジ開校30周年おめでとうございます。29年という長い時間の中で私も数え切れないことを学ばせていただきました。

その中の一つ、卒業式の謝恩会でのお話です。謝恩会の場では、陶芸家の田尻先生が大人しい先生でいらしたので油彩画家の石塚先生が主にスピーチをされていました。石塚先生はいかにも芸術家らしい先生で、『芸術とは習ってできるようなものではない。苦しんで悩んで自分で見つけ出していくのが芸術であり創造である。自分もまだまだその中で努力をしている。皆さんも卒業して終わりでなくその後も精進すべし』というような、卒業にも関わらずなかなか厳しい話をされておられました。改めて、その通り！と思う人、厳しすぎるとさじを投げそうな人…私は「カレッジは答えを教えてもらう場ではなく、自分で学ぶということを知る場だ」ということを学び、真剣に『芸術とは』と語れる先生は素晴らしいと感じていました。今でも先達の言葉を思い自分を省みます。

神戸市シルバーカレッジ 開校から30年のおもなできごと

わが神戸市シルバーカレッジは、今年9月で開校30周年を迎えました。

開校まもなく「阪神淡路大震災」が発生し、本校は被災者支援物資の拠点になりました。学生や市民の奉仕活動が始まり、それを機に日本のボランティア元年と言われるようになったのです。本校はそのボランティア精神を引き継ぎ今日に至っています。

1993年9月21日 『開校』

初代今井鎮雄学長を先頭に、事務局職員と440人の一期生が神戸市シ



ルバーカレッジの先駆けとなる。

開校当初は9月度入学で、入

学試験に合格した新入生の歩みが始まる。コース・専攻は、福祉コミュニティ、国際交流・協力、生活環境、総合芸術



(工芸、音楽、園芸、食文化の4つの専攻)の4コースがあり、現在とは一部名称が異なる。

1995年1月17日 『阪神淡路大震災(兵庫県南部地震)発生』

本校は発生当日から10月末日まで約9カ月半のあいだ休校を余儀なくされ、神戸市北区の被災者支援物資の集積基地になったことで、学生のボランティア活動が始まる。



1996年4月 『入学月の変更』

開校2年半で入学月が9月から4月に変更され現在に至る。

1997年3月 『第一期生卒業』

一期生の卒業式がカレッジホールで執り行われ、319人が卒業された。同時に「KSC同窓会」を結成。

2003年9月 『開校10周年』

9月24日から28日の5日間、開校10周年記念事業を実施。

初日は、神戸文化ホールで記念式典及び記念講演とパネルディスカッション。夕方からはホテルニューオータニで祝賀会が執り行われる。

2013年10月 『開校20周年』

10月9日・10日には式典を、また25日までさまざまな協賛事業を実施。

カレッジホールで、記念式典やシンポジウムやコンサートが開催され、記念石碑

「再び学んで他の為

に」今井初代学長揮毫や記念植樹が執り行われる。



2015年2月 『学長交代』二代目へ

2月1日、服部祥子学長就任。

2018年4月 『再入学制』

再入学制度がスタート。

2018年11月 『開校25周年』

11月8日、しあわせの村開村30周年記念事業の一環として、カレッジホールで「開校記念シンポジウム」を開催。

第一部では田辺真人先生の「しあわせの村とこの30年」についての記念講演があり、第二部では服部学長がコーディネーターを務め、5人のパネラーが「シルバーカレッジが開く新しい世界」と題したパネルディスカッションが開催された。

2020年3月 『新型コロナウイルスの国内感染拡大』

新型コロナウイルスの国内感染拡大に伴い、シルバーカレッジも3月2日から8月31日まで約半年間休校となる。

休校中は全学生に事務局だよりを発送(2020年5月号から8月号)、さらに9月9日から翌年12月31日までリモート授業を行う。

【学内の感染対策】

3密を避けるため、各教室の定員を半数にし、必要に応じ、しあわせの村「研修館」を活用。

手洗い・アルコール消毒・登校前の検

温・マスク着用・体調不良時の登校禁止。昼食時など対面は避け、一方向での黙飲食の励行。各活動、委員会で登校する時は、施設利用届を提出し管理を図る。

2020年3月～2021年10月の状況【各種イベントの中止・実施など】

- 2019年度卒業式(24期生)は中止になり、その代わりに1年後の2021年3月24日にホームカミングデーを実施。
- 2020年度入学式(27期生)は中止、7月20日から27日に分け新入生オリエンテーション(学長講話)を実施。
- 2020年度学園祭は中止。
- 25期生グループ学習発表会、歓送交流会は2021年3月に実施。
- 2020年度卒業式(25期生)は縮小し3月23日に実施。
- 2021年度入学式(28期生)は縮小し4月8日に実施。
- 2021・2022年度学園祭は在校生のみの参加型で実施。

2022年4月 『学長交代』三代目へ

4月1日、前田潔学長就任。

2023年5月 『日常の学園生活へ』

新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが2類相当から5類に変更された。マスクなどの自主的な感染予防を行ないながら日常を取り戻しつつある。



【開校当時のシルバーカレッジ】

特集 第28回学園祭に向けて

『とどけよう！未来へ繋ぐ 我らの響き』

第28回学園祭が10月7日（土）に開催されます。今年は在校生とその家族および卒業生が参加可能となり、各委員会は昨年の倍近い来場者を目指して準備を行っています。そこで、学園祭総合委員長や各委員会から、概要および準備状況を紹介させていただきます。

【学園祭総合委員長】

国際29期 越智 勇人
国際29期 久武 鈴恵

在校生の皆さん、今年の学園祭は10月7日（土）に開催されます。学園祭は学園の行事としては最大のイベントで日頃の学習の成果、クラブ活動、ボランティア活動などの成果が披露されます。



今年の参加団体はステージが23団体、出店・展示が26団体、合計49団体の参加となりました。

昨年の学園祭はコロナ禍であったため、在校生だけの参加でしたが、今年は在校生とその家族、卒業生の参加が可能となりました。そのため昨年の来場者は800人弱でしたが、今年は約1,500人の来場を予想しています。

これだけの行事を行うのに、在校生皆さんの応援なくては運営できません。運営組織として、総務委員会、駐車場委員会、バザー委員会、ステージ委員会、出店・展示委員会と5つの委員会で組織されており、これらの支援者の応募も終わり、各委員会では学園祭に向けて準備が進められています。

クラスと各団体からの支援者総数は約190人となりました。支援者として応援いただいている皆さん、よろしくご協力をお願いします。

『とどけよう！ 未来へ繋ぐ 我らの響き』

第28回学園祭のキャッチフレーズが決まりました。優秀賞を受賞したのは音文29期生の辻順子さんと2年連続受賞の快挙です！キャッチフレーズに沿える学園祭を実施できるよう我らのパワーを結集しましょう。

さらなるお願いですが、バザー委員会では皆さんからのバザー物品の提供を待っています。ご家庭で眠っているチャリティーバザー物品の提供をお願いします。

夏休みが終わり、2学期が始まると、学園祭に向けた準備が本格化します。皆さんには相当なご協力をお願いとなり

ますが、出演者、支援者、見学者の皆さんが楽しめる学園祭でなければ意味がありません。「楽しい学園祭であった！」と言えるよう引き続きのご支援、ご協力をお願いします。

◇総務委員会

園芸29期 戎居 宗春

今年の学園祭は、昨年までのコロナ禍での学園祭と違い、コロナ過前までとはなりません、在校生の家族、卒業生までと少し来場者の範囲を拡大しての開催となります。

今年の学園祭委員会は、例年より早く2月20日のプレ学園祭委員会から29期生のみで始まり、4月21日に開催された全体会議で30期生が合流し、総務委員メンバーは29期6人、30期7人の総勢13人でスタートしました。

総務委員会の業務として、3月から出店・展示、ステージ出演参加団体の募集をはじめ、キャッチフレーズの募集、各委員会への支援者の募集を行っております。これからはプログラムの作成及び学園祭開催時の詳細に向けて検討を行ってまいります。

総務委員会の支援者の皆さん39人には、業務として受付、館内放送、掲示・看板作成、パトロールなどを担っていただきます。支援者会議などで、楽しい学園祭にするために皆さんと意見交換を行い、準備を進めてまいります。

この学園祭は、コロナ禍明け以降の一般者も迎えることを見据えた学園祭となるよう、背伸びをせず頑張っていきたいと思っております。

各委員会の学園祭委員と支援者が一致団結して学園祭に来られる皆さんが喜んでいただける学園祭となるよう準備を進めております。皆さまのご支援ご協力をよろしくお願い致します。



◇**駐車場委員会**

健康29期 村上 泰民

在校生の皆さまは学園祭に向けて、出店・展示の準備、ステージ参加の練習、運営委員会・支援者活動などに取り組んでおられることと思います。



今年の学園祭参加者は、昨年の在校生だけから在校生の家族と卒業生まで拡大されます。来場者は昨年から約1,500人程度に増加するのではないかと予想されています。車使用者についても昨年よりかなり増えることが予想されます。駐車場委員会は人数を増やして駐車場委員8人、支援者45人で活動を開始しました。

楽しい未来につながる学園祭にするためには、まず安全確保が不可欠です。駐車場委員会では委員・支援者全員が協力して、在校生の皆さまのご協力をいただいて、今年も安全で楽しい学園祭となるように努めます。

学園内の駐車場は臨時駐車場を入れても大幅に不足します。通常時に車で通学されている方の数を満たすことは不可能です。在校生の皆さまには、「できるだけ公共交通または学外（村内）の駐車場を利用していただき、学内駐車場の利用は控えていただきたい」と考えています。

学園祭の企画・運営にご協力いただく委員・支援者の皆さまにも学内駐車場の利用は控えていただくことを予定しており、ご理解ご協力をお願いします。

在校生の皆さま全員のご協力の下で安全で楽しい学園祭を作り上げていきましょう。

◇**バザー委員会**

生環29期 吉田 義則

学園祭のバザー収益金は、学園祭の運営費用とボランティア団体やしあわせの村内の福祉施設への寄付金に充当されます。昨年はコロナ禍での開催にもかかわらず委員、支援者の方々のご尽力と在校生の皆さまのご協力で一昨年以上の成果をあげました。

今年のバザー企画は、バザー委員11人、支援者52人で力を合わせて運営します。

9月4日から物品受付を開始し、集まった物品の販売はオークションと学園祭当日に店頭で行います。

オークションは9月19日から9月28日までふれあいホールで開催します。掘り出し物を見つけに、オークション会場に

足をお運びください。今年のオークションでの入札は、従来の入札表を使用する方法に加えて、スマートフォンでQRコードを読み取ってオークションの応募画面から必要事項を入力して送信する“電子入札”も採用します。ぜひ電子入札での参加もよろしくお祈いします。

10月7日学園祭当日は、今年もバザー会場での混雑を避けるため時間毎の整理券を配布します。整理券は1階の玄関入り口前で配布しますので、都合のよい時間にゆとりと会場の中をご覧ください。

バザー企画の運営は、皆さま方のご協力にかかっています。ご家庭に眠っているお宝品を一品でも多く提供して下さることをお願いいたします。

◇**ステージ委員会**

国際29期 小林 孝志

今年のステージ委員会は、昨年と異なってパフォーマンスをする団体から委員と必要数の支援者を選任して、委員長以下総員58人で構成されております。そして、出演者が自ら交替で司会、舞台、音響・照明、演目誘導、会場などの役割を完結させるシステムとしております。

また、去る5月から新型コロナが感染法上第5類に移行され、感染対策がやや緩和されたことから、午前2回、午後2回あった換気タイムはそれぞれ1回となります。

これにより多少の時間的余裕が出てきたのですが、出演予定が23団体と多いことにより変わりがないため、それぞれの団体の持ち時間は、昨年同様13分と変わらず厳しいものとせざるを得ず、タイトな時間管理はやむを得ないところとなっております。

出演の順番につきましては、各団体の出演計画書をもって進行側と出演側のミーティングを行い、進行側、出演側がそれぞれお互い様の立場にありますので、時間管理、資機材の有効な活用についても譲り合い、協調の精神で臨み、昨年の出演順も参考に決定しました。

読者の皆さまがこの記事を読まれるころには、学園祭まで1カ月を切っており、リハーサルまで10日くらいとなっていると思われます。リハーサルでは、最終調整を行い学園祭当日の円滑な進行が実現できるよう頑張りたいと思っております。

皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。



◇出店・展示委員会

美工29期 中谷 茂樹

当出店・展示委員会は今年から出店委員会と展示委員会が合体して編成されています。それは両委員会での調整会議が多く、効率が悪かったので一体的に活動できるようにと考えられて変更されました。

委員会は、出店にはふれあいホール、和室、中庭にて13団体、展示にはホールと教室にて13団体、合わせて26団

体の代表者で構成されております。また、支援者も、今回は各クラスから募集せず、出店・展示される各団体のメンバーで構成し、業務に当たっていただくこととしました。

当委員会は、直接的に出店・展示作業を行うのではなく、その作業がスムーズに行えるように計画しています。

各委員は、委員会との連絡係として、自団体の要望を委員会で提案し、委員会での決定事項を自団体に伝達しています。各団体の要望にできるだけ沿って、ふれあいホールのレイアウトや備品の貸出計画を立てています。

当委員会は、学園祭の1週間前、前日や当日には設営や撤収の指示、備品の貸出・返却の内容確認を行います。今年は展示パネルの要求数が約160面と最大級の多さになり、設営や撤収時に大きな混乱が予想されます。それを如何に最小限に抑えられるかを委員会で知恵を絞ってより良い対応を考えていくつもりです。

さらに、消防署や保健所への届け出なども総務委員会とも協力して実施していきます。

繰り返しますが、各クラスからの支援者募集がない分、皆さまのご協力をぜひともお願いします。

第28回学園祭 キャッチフレーズの決定

優秀賞 「とどけよう！未来へ繋ぐ 我らの響き」 (音文29期 辻 順子)
佳作 「学ぶ心 触れあう心 学園祭」 (美工29期 樋口 正美)
佳作 「夢が咲く みんなが主役 学園祭」 (美工28期 寺尾 隆志)

キャッチフレーズには135点もの応募があり、上記の優秀賞1点、佳作2点が審査の結果選ばれました。昨年に続いて優秀賞を受賞された辻さんから、キャッチフレーズに込めた願いを紹介していただきます。

優秀賞を受賞して

音文29期 辻 順子

今回の学園祭は、私たちコロナ禍に入学した学生にとって、初めて家族と一緒に参加できる学園行事となります。この特別な機会に学内の至る所で皆さんが活躍される様子を思い描くと、その傍らで未来を担う若者たちが目を輝かせて、おじいちゃんおばあちゃんからのメッセージを受け取る姿が目に見えます。

昨今、ウクライナの紛争などを考えると、現在の私たちがたくさんのしあわせの中にいることを痛感します。私たちには、紛争を解決することなどはできませんが、未来に続く若者に人と心豊かに過ごす人間力を伝えることができればと思います。

私たちがシルバーカレッジで学んだ価値観「知識、調和、協力、感謝、友情、そして平和へ導く他への愛情と尊重」これらの心の響きを未来に繋げることができれば、こんなに嬉しいことはありません。

「とどけよう！未来へ繋ぐ 我らの響き」この学園祭のテーマにはそのような願いを込めました。さあ、一緒に未来にとどけましょう！



第28回学園祭 ステージ出演団体

出演日	出演順	出演団体名
10 ・ 7 (土) 午前	1	KSC 人形劇「ゆめ」
	2	KSC 謡曲クラブ銀謡会
	3	KSC マジック同好会
	4	KSC フルトクラブ・フルーツパフェ
	5	あかりの会
	6	手話ソング
	7	ミュージ研
	休憩(換気)	
	8	混声合唱団コーロKSC
	9	ザ・カスタネット
	10	KSC 男声合唱団
	11	KSC 軽音楽クラブ
12	音文 3 学年合唱	
休憩 (昼休み)		
10 ・ 7 (土) 午後	13	KSC アロハハワイアンズ
	14	KSC ハーモニカグループ
	15	KSC フォークソング・クラブ
	16	KSC オカリナチーム
	17	KSC オールディーズクラブ
	18	KSC フォークダンスグループ
	休憩(換気)	
	19	KSC 民謡同好会
	20	KSC 社交ダンスクラブ
	21	KSC 三曲会
	22	KSC 太極拳クラブ
23	KSC 英語クラブ	

第28回学園祭 展示・バザー・出店団体

参加方法	団体名	開催場所
展示	パソコンクラブ	学習室 7
	NPO法人社会還元センター グループわ	わ会議室
	NPO法人社会還元センター グループわ	1 階 ホール
	KSC フランス語同好会	
	KSC 写真クラブ	
	KSC 書道部	
	KSC 川柳くらぶ	
	KSC 野鳥と自然観察会	
	絵手紙同好会	
	俳句クラブ	
	美工 28 期 (絵画・陶芸)	
	美工 29 期 (絵画・陶芸)	
	美工 30 期 (絵画・陶芸)	
	バ ザ ー ・ 出 店	学園祭バザー委員会
絵画ボランティアグループ		学習室 3・4
陶芸ボランティアグループ		
KSC ボランティアグループ茶道部		
ケナフの会		1 階 ホール
ボランティア木工グループ		
シルバーケーキの会		
ボランティア・クッキーの会		
食文 28 期 (フルーツケーキ)		
こども文化 (折り紙、むかし遊び等)		
KSC 有機野菜をつくる会		中庭
ガーデニンググループ(花・野菜苗など)		
園芸専攻 (花・野菜苗、サツマイモ)		



食文化専攻授業の紹介

食文29期 井上 克彦

他のコースの方から、「食文化は、昼食を持っていかなくてもよいの？どんな勉強しているの？」と聞かれます。今回は、食文化の授業内容をご紹介しますと思います。

前もって、講義タイトルは分かりますが、何を調理するのは知らされていません。当日、出席簿の横に本日のレシピが置いてあります。講師が実演を交えてレシピを説明します。レシピは4～5品あります。説明が終わるのが11:00～11:40ごろです。その後、班ごとに調理実習が始まります。

それからがたいへんです。レシピに合わせて役割分担（班構成は4～5人）をして、調理をします。1時間くらいで完成させないといけません。あわただしく調理して、終わったころには疲れてしまいます。試食が始まるのは早くも12:30ごろで、遅くて13:30ごろになります。実習の反省やレシピを批評しながら試食するのが、授業で一番楽しい時です。

毎回、グループ学習をしているようです。回を重ねる毎にチームワークが良くなっているように思います。食文28期生とも仲良くさせていただいています。27期生歓送会、30期生歓迎会の記念品（フルーツケーキ）を共同で作成しました。30期生とも同じようなお付合いができれば、3学年の交流が図れると思います。



幸せいっぱい食文化実習

食文30期 野上 勢津子

これまで、和洋中仏料理と洋菓子の23のメニューを受講しました。中でも印象深かったのが「みんなの好きなデコレーションケーキ」作りの実習でした。

先生の完成作品をみて、「えっ？初心者でこんな立派なデコレーションケーキ？」ちゃんと作れるのか、不安と期待が入り混じりました。

お菓子は特に計量や温度が大切で、生クリームの泡立てなどけっこう力も要る作業です。だが、そこはクッキング男子の活躍と先生のきめ細やかなアドバイスにより、すべてクリアしました。各班メンバーの絶妙のコンビネーションによって、高さのあるスポンジケーキの生地作りに成功しました。最後は美しくフルーツをトッピングし、達成感をえました。その日は皆がパティシエ気分浸ったようです。これぞ、実際に体験してみなければ味わえない楽しさが、食文化専攻にはあるのです。一緒に何かを作る作業は楽しく、完成した喜びはひとしおです。4分の1ホールに大きくカットしたケーキを完食し、「あ～幸せいっぱい！」・・・。

試食後の講義は、和洋中仏菓子いずれも、それぞれ作る上でのポイントやノウハウをわかりやすく説明していただき、また実習中の疑問点などを聞くことができる質疑応答の充実した時間です。いろいろなことを刺激しあう中で工夫を重ね、クラスの仲間、環境、素晴らしい講師陣により、「食べる喜び、食の豊かさ」を感じながら2学期も、いろいろなメニューにチャレンジしていきたいと思えます。



合唱が繋ぐクラス【アンダンテ29】の絆

音文29期 坪田 敏子

音文には特別な授業があります。一つは声楽家や演奏家の実演を間近で鑑賞できる授業です。今までにチェロ、フルート、クラリネット、ソプラノやテナー歌手の演奏を鑑賞してきました。そして、先日もお琴と尺八の合奏をすぐそばで鑑賞することができました。実際にお琴を弾く体験もでき、楽しくて時間の過ぎるのが早かったほどです。

もう一つは合唱の実技です。音文では合唱でカレッジホールの舞台に立つ機会が数回あります。5月の新入生歓迎会、学園祭、



そして3月の卒業演奏と歓送会。全員が心一つにして合わせて歌います。その度にクラスのメンバーの気心も知れ、絆が深まります。先日の新入生歓迎会では、みんなが多彩なタレントぶりを発揮して、合唱はもちろん楽しいパフォーマンスを披露しました!!「音文以外の方々にもお見せしたかった!!」との声もあつた程です。今は学園祭に向けて、放課後練習に励んでいます。音楽経験の豊富な方々を中心に、それぞれができることを発揮して素晴らしいクラスになっています。今後の【アンダンテ29】の成長がますます楽しみです。

わくわく、ドキドキ、今も青春

音文30期 岡本 徹也

音文の授業では、顔の筋肉のストレッチが始まります。歌う前の準備が大切です。いざ、歌ってみて、音程がはずれたり、テンポがはずれたりすると、周りから笑い声がもれますが、とても暖かいので失敗しても励まされます。ゆるくて、スローで、心地よいです。

町田先生の授業では、出身校の校歌をアカペラで独唱することになりましたが、勇気ある人が何人も歌いました。ハートが強いです。みんな幸せな顔をして歌っているのです。授業をさぼり、クラブ活動に明け暮れた青春時代を思い出しながら、はたまた、初恋の相手の笑顔を思い出して歌っているのでしょうか。

音文の授業では、イタリア語で歌曲を歌ったりして、難しく感じることもありますが、なつかしのフォークソングを歌うこともあり、先日は、『花嫁』（はしだのりひことクライマックス、1971年発表）を合唱しました。歌詞は、「花嫁は、夜汽車に乗って、嫁いでゆくの（中略）海辺の町へ（中略）帰れない何があっても（中略）」。みなさん、この曲は、駆け落ちの歌だと知っていましたか。クラスでは、京都から夜行列車で「鳥取」へ行ったという意見が出ましたが、みなさんは、どこへ行ったとお考えでしょうか。



※写真は、町田先生の「呼吸法と初歩の発声」の1コマ。5～6人、1グループで合唱。発表前には、授業の前後や昼休みを削って、自主練習に励みました。



生活環境コース 川上 マユミ先生

兵庫県神戸市出身。野菜ソムリエ上級プロ（全国に143人しかいない）、健康管理士として「菜」「食」「健」「美」を組み合わせた内容で講演やセミナー活動、調理実習、レシピ・メニューを提案。シルバーカレッジでは、食と環境問題を絡め、ゴミや食品ロス削減をテーマに授業・実習を担当し16年になる。

エコクッキングとはどのような考え方でしょうか

調理において、エネルギーや水の無駄を省くとともに、できるだけ廃棄を減らし素材を活かきるとの観点から、エコを含めた全体バランスを考えて、おいしい料理を作る方法を考えることです。

野菜ソムリエの資格をとられた経緯は

子供のころから料理が大好きで得意でした。若いころ、ワインなどのソムリエ制度にならって日本野菜ソムリエ協会が発足し、その認定第一期生として野菜ソムリエの仕事を始めました。健康のために野菜を活用し、社会に役立てる、眠っている野菜も広めるといった仕事です。野菜ソムリエは調理者に限らず、生産者、流通業者、販売業者も対象にしており、野菜全体に知識のある者に認定される専門資格です。野菜をどう活かすべきかをテーマに、セミナーや講演活動を通して情報発信をしています。

シルバーカレッジの学生に期待することは

エコクッキングを自身で実践・継続し、そして他の人にもその方法を伝えてほしいと思っています。また、エコクッキングを通して身近な環境問題への視点を意識するようになってほしいと思います。

関わっておられる都市農業の普及活動での課題は

生産者の後継者不足が一番の課題です。近郊の宅地化が進む都市農業においては農薬使用の制約もあります。

西宮に住んでいるので北摂、宝塚、伊丹などを活動拠点にしています。県とタイアップして都市農業の現状を紹介、新しい野菜やくだもの情報を発し、食べ方の提案などを行っています。

最後に、とにかくシルバーカレッジのみなさんの学習意欲をひしひしと感ずるので、これからもますます真摯に応えていきたいと考えています。
(生環30期 松本、佐藤)



園芸専攻 久山 敦先生

西宮市出身、在住。英国王立キュー植物園に1年間留学。咲くやこの花館の館長を経て、現在、名誉館長。シルバーカレッジでは開校3年目の平成7年度(1995年度)より講師。

著書・共著書に、「ヨーロッパ花の旅」、花の絵本(「六甲高山植物園」「花のほほえみ」など)がある。親族に、久山葉子氏(「スマホ脳」の翻訳者)、倉本聡氏(脚本家)、小林桂助氏(鳥類学者)

植物や植物園との関わりについてお聞かせください

父や親類が植物や鳥類といった自然に興味を持ち続けていて、その姿を見て育ちました。子供のころからの周りの影響が大きいと思います。

社会人になってから、野生植物を中心に学ぶため、英国王立キュー植物園に1年間留学しました。植物園の社会に対する役割を肌で感じたことが、後々の新しい植物園の設計に役立っています。

帰国後、淡路島「くにうみの祭典」で10年にわたって動植物園の設計と管理を任せられ、コアラを受け入れるため、ユーカリ2万本を植えたりもしました。(現・淡路ファームパーク)

大阪花博(国際花と緑の博覧会)の主会場の咲くやこの花館は、開催の3年前から準備にかかり、花博後は、おまえが後の世話を続けると言われて今に至ります。時代に合わせた主張をお伝えするのが重要な役目です。

「ヨーロッパ花の旅」はどのような本ですか

海外旅行が一般的でない50年前に60日間で欧州24カ国を夫婦で周った紀行文です。本にはヨーロッパの全植物園のリスト

や植物の見方なども載せていて、高坂知英著『ひとり旅の楽しみ』では一番優れた旅行記と紹介されました。

この50年の変化を見たくて、今年4月から75日かけて再訪しました。徐々に報告していく予定です。

現在取り組まれていることについてお聞かせください

昨年仲間と、「シヨクナナ」というYouTubeチャンネルを立ち上げました。「牧野富太郎博士の足跡を辿る」という番組では、NHKの朝ドラ「らんまん」では触れられていないけれども、牧野博士を語るのに欠かせない、博士を温かく支えた阪神間の人たちのことを伝えたい思いで取り上げています。

植物園の取材や花に関する番組など、面白い話題をほぼ毎日取り上げているのでぜひ見てください。

シルバーカレッジの学生にメッセージをお願いします

将来を支える世代、特にお孫さんたちと一緒に植物を育ててください。季節感を楽しんだり植物を好きになる気持ちは、地球にとって大事なことで、また生命の大切さを身に付けることにつながるでしょう。
(園芸30期 森本、小野)

KSC社交ダンスクラブ

健康29期 後藤 哲郎

この記事が爽風に載るころは、10月の学園祭を目指して各クラブ団体の方々は練習にますます熱が入っていると思います。この記事を書いている7月末は、私たちKSC社交ダンスクラブも学園祭に発表する演目が決まり、レッスンにはげんでいます。

普段の練習はしあわせの村のたんぼぼの家の多目的ホールで行なっています。およそ30人が一緒に練習できる広く立派な会場です。練習日時は毎週火曜日の午後1時から午後5時前まで。そのうち3回/月はプロの講師に来ていただき、午後2時45分から4時45分まで途中に休憩をはさみ2



種目(スタンダードとラテン)のレッスンを受けています。1回/月は自分たちだけの復習レッスンに当てています。学園祭では、ジルバ、ルンバ、タンゴ、ワルツを皆さまの前でご披露することが決まり、ますます練習に熱が入ってきました。これから学園祭に向けて更に頑張ってヒートアップしてくるでしょう。

我がダンスクラブは現在、シルバーカレッジ学生の部員が14人、OBの部員が8人の22人が所属しています。部員数としては、近年で最も少ない状態ではあります。去る7月22日に新入部員の歓迎ダンスパーティーを行いました。今年の新入部員は4人で、その中で初めて社交ダンスを習う人が2人です。パーティーは、新人が十分に踊れて楽しめるようにと、ジルバ、タンゴ、ルンバ、ワルツなど、まず、それぞれの種目のステップを皆で復習してから、全員が一斉に踊る形式で行ないました。少しでも賑わいとパーティーの華やいた雰囲気を楽しめるようにとの工夫でもありました。



KSC社交ダンスクラブには、一緒にレッスンを受けているOBの方々とは別に、シルバーカレッジとKSC社交ダンスクラブの両方を卒業し、さらに上達を目指す方々が所属しているKSC-OB社交ダンスクラブという別組織があります。会員数は近年の新型コロナの影響もあり減少しましたが、150人を超える方々がしあわせの村の研修館で練習に励んでいます。このようにいつまでも元気にダンスを続ける道が用意されています。社交ダンスに興味のある方は、ぜひしあわせの村多目的ホールまで私たちの練習やレッスンを見学に来てください。また、各週のレッスンの内容は事務局裏のクラブ紹介をご参照ください。

国際交流友の会

国際29期 名定 博

当会では(財)PHD協会の活動を支援しています。毎年、4~6月にPHD協会が東南アジアから招聘した研修生への日本語復習ボランティアを行っています。今年は、教育と助産について研修を受けるためにミャンマーとインドネシアから2人の女性が来日しました。日本語学習の後で、スマホの写真を見ながら覚えたての日本語で交流を深めました。「動物園にみんなで遊びに行った」、「どれぐらい時間がかかった?」、「6時間」などです。また、スマトラ島が日本本土の2倍以上の広さがあることを知りました。ミャンマーの研修生に「ウクライナ知っている?」と聞くと、「わからない」、「え・・・?」、「電気ない。1日1時間・・・」、それどころじゃないようです。

6月にPHD研修生との交流会を開催しました。今年は茶道部も参加し、茶道、習字、折り紙などで研修生と交流を深め、一緒に楽しみました。PHD協会主催の来日報告会では、インドネシアの研修生が地元の村踊りを披露してくれました。優美に手指を使う踊りで、ゆったりした動きは日本の踊りに似ているように思いました。



国際交流友の会は、神戸市に定住する外国人に日本語の学習支援を行うグループです。コロナ禍では日本語学習を希望する外国人が減少したため、ボランティア活動受入団体のボランティア登録条件が厳しくなり、日本語ボランティアに従事している会員は少なくなりました。今年5月のコロナ規制緩和後、来日外国人は増えています。日本語学習を希望する外国人も増えており、KFC(神戸定住外国人支援センター)などの団体会員登録すれば、ボランティアに参加できるようになりつつあります。

年に2回、会員が日本語ボランティアを行っている外国人を招待して、外国人交流会を開催しています。今年7月23日にあいな里山公園で野菜の収穫体験、ゲームや踊りで交流を深め一緒に楽しみました。



コロナ禍で中断していましたが、今年久しぶりに8月27・28日、9月16・17日の4日間、しあわせの村夏祭りに「ストラックアウト」で参加します。そのほか、「やさしい日本語」の講座やJICA関西への訪問見学も行っています。海外旅行も独自に計画し、3月にはベトナム旅行に13人が参加しました。

当会では各種行事の運営を分担協力して行っています。興味をお持ちの方は、メールでお問い合わせください。

KSC三曲会

“三曲ってな～あに”

健康29期 東条 国広

三曲という言葉には馴染みがないと思いますので三曲についてご紹介します。三曲とは江戸時代から現代にかけて日本の音楽として最も普及している3種類の音楽の総称です。

三曲会は箏(こと・そう)・三味線・尺八の三つの和楽器を使って合奏を行っています。これが一般的に三曲合奏と呼ばれているものです。江戸時代までは胡弓が使われていましたが、明治以降に尺八を使うことが主流になりました。「箏」と「琴」は別の楽器です。最大の違いは、箏は柱(じ)と呼ばれる可動式の支柱で弦の音程を調節するのに対し、琴は柱が無く、弦を押さえる場所で音程を決めるものです。通常の箏は十三本の弦を有しますが、他に十七絃箏もよく使われます。



三味線は「三弦(さんげん)」また沖縄では「三線(さんしん)」とも呼びます。戦国時代に琉球から伝来したもので、他の多くの和楽器と比べ新しい楽器です。基本的にはヘラ状の撥(ばち)を用いて弾きます。相手に「調子を合わせて」油断させることを「三味線を弾く」といいますが、広く使われている諺ですね。

尺八は、日本の木管楽器の一種です。リードのないエアリード楽器に分類されます。その名称は、標準の管長が一尺八寸であったことに由来しており、尺八に似た楽器としてフルートやリコーダーがあります。真竹の根元を使い、7個の竹の節を含むようにして作り、手孔は前面に4つ、背面に1つです。上部の歌口に息を吹きつけて音を出します。



当三曲会の練習は、箏・三味線が月3回、尺八が月3回別々に行い、発表会が近づくと同様で練習をしています。お互いの楽器でそれぞれ十分に技を磨き、それから三曲合奏の調和をしっかりと追及するということを目指しています。練習曲は箏曲、尺八曲などの古典物から、童謡、歌謡曲、洋曲と広いジャンルにわたっています。また三曲合奏がすべてということではなく、単独の楽器として演奏しても十分にお客さんに聞いていただけるものであることは言うまでもありません。

現役員が5名と少なく、クラブの将来を心配しています。特に尺八は持ち運び簡単であり、どこでも練習できるような手軽な楽器です。高齢になって初めて取り組む人もいます。皆さまが関心を持ち、入部されることを切に希望します。

ガーデニング・グループ

「花と緑を愛する人に、癒しと感動を」

園芸29期 小野 スミエ

カレッジに登校して、まず目に入るのが玄関近くにある花たちでしょう。玄関のプランターのお世話をしているガーデニング・グループです。

季節に合った花苗を買ってくることもありますが、種から育てたり挿し木をしたりいろいろな方法で花を増やし、育てることに取り組んでいます。

9月はちょうど秋蒔きの種を準備する季節です。小さな種を一粒ずつ土に蒔いて発芽させます。



寄せ植え

光が好きな種、あまり好きでない種があり、種まきの後の土かけの量も違ってきます。初めのうちは水を切らさないようにするのも大切です。小さな芽が出て、少しずつ大きなポットに植え替えて玄関のプランターにデビューさせます。手間がかかりますが、自分で育てた花にはとても愛着がわくものです。

玄関前のプランターのほかにも、ワークホーム明友の花壇の手入れ、バラ園の世話もしています。植物は正直なので、丁寧に世話をすると必ずそれにこたえてくれ、きれいな花を咲かせてくれます。



植え替え作業

10月の学園祭に向け、花苗をたくさん準備しています。秋に咲く花、冬を越して春にかわいい花を咲かせる苗など、いろいろありますよ。

週に1回、花に親しんで楽しい時間をもちませんか。農園では野菜も育てているので、活動日には、必ず野菜のお土産もあります。いつでも、ご入会をお待ちしています。



アグロステンマ

グループわ だより

30期生共通授業でグループわ の紹介

7月5日に30期生の共通授業でグループわ について3部構成で紹介しました。第1部で「グループわ」の概要を説明、第2部では「楽遊クラブ銀雅」「太極拳ゆったり体操」「男声合唱団」によるパフォーマンスを披露しました。第3部では「学習支援・学校園ボランティア活動」、「戦争の語り部活動」「区会活動」を紹介しました。



在校生からは、「ボランティア活動の熱心さが伝わってきました」「趣味の活動や身近なボランティア活動がたくさんあることを再認識しました」などの感想をいただきました。

夏休み工作塾を開催

8月5日にしあわせの村研修館で夏休み工作塾を開催しました。午前・午後合わせて200人の募集に対して463件の応募がありました。当日は、多くの子供たちが参加し、オニヤンマくん、パクパク人形づくり、紙すきはがき、折り紙、バーニングアート、ソーラー箱プラネタリウム、木工工作など思い思いの工作を楽しんでいました。



グループわ で一緒に活動しませんか。
在学中でも入会可能・大歓迎です！
活動の詳細は、Web サイトへ



中崎 朋子先生のジョイフルクッキング



《材料》4人分

豚肉(しょうが焼用)	200g
玉ねぎ	1個
赤パプリカ	1/2個
ピーマン	2個
エリンギ	大1本

豚肉の香酢炒め

《調味料》

A	塩・こしょう	少々
	おろしにんにく	小さじ1
	片栗粉	小さじ2
B	ごま油	大さじ2
	香酢(黒酢)	大さじ2
	オイスターソース	大さじ1.5
	しょう油	小さじ1
	砂糖	小さじ1
	豆板醤	小さじ0.5

《作り方》

- 1) 豚肉は食べやすい大きさに切り、調味料Aで下味をつける。さらに、片栗粉を加えて全体に揉みこむ。
- 2) 玉ねぎ・ピーマン・エリンギは1cm幅に、赤パプリカは少し細目に切る。(赤パプリカは白いワタも取り除く)
- 3) Bの調味料を混ぜ合わせておく。
- 4) フライパンにごま油大さじ0.5杯を入れて熱し、2)の野菜を固い順から炒め、塩をふり、取り出す。
- 5) 残りのごま油大さじ1.5杯をフライパンに足し入れて、下味をつけた1)の豚肉を広げ入れる。片面に焼き色がついたら裏返し、色よく焼く。
- 6) 炒めた野菜を戻し、3)の調味料Bを2~3回に分けて回しかけ、軽く炒めて火を止める。火を止めたらずくに器に移す。

《先生からのコメント》

- ・作り方の1)では、ビニール袋に下味をつけた豚肉と片栗粉を入れて揉みこむとよい。
- ・豚肉を焼くときは、豚肉を入れてから火をつけ、強火で焼く。途中で混ぜたりしない。

(食文29期 野中)

《俳句クラブ》



雑詠 四季の俳句

ジャズを聴く神戸の夜や鱧の皮 谷口裕

檻の前子に差し向ける日傘かな 戸田文章

雲の峰陣旗揺るる古戦場 佐野貴代美

備前焼増して牡丹のあでやかさ 山田浩子

掌に包めば漏るる螢の火 貞苅茂

貴賓席愛馬見守る日傘かな 寺尾隆志

剥き出しの溶岩台地雲の峰 奥山繁男

螢火を追って浸かった露天風呂 千足恵美子

相棒は夜空と炎ソロキャンプ 村上泰民

万緑の淵禁漁の札ぼつり 中井芳樹

父見舞ふ駅に降りけり男梅雨 大高松男

《川柳クラブ》



自由句

改革をしているフリの自民党 佐藤真巧

悔しいなちよつとの油断ネズミ捕り 佐藤真巧

油断して壁とキスして十五万 名定博

親に逆らい子に逆られ孫かわい 名定博

粋な婆浜辺にぎわす水着ショー 北川都

あっほーと笑うカラスにマスクする 北川都

平和ボケ油断ばかりのネギ坊主 渡辺かおる

逆らっていないなかったならしあわせか 渡辺かおる

頑固にも時代に添わずガラケーで 進藤たか子

改札前財布の忘れふつと気付き 進藤たか子

頑固です母と私の口喧嘩 千足千

重力に逆らう猫の宙返り 千足千

《応募作品》

俳句

ジャズ魅入る白き横顔涼しげに

笑み溢るお椀に咲いた牡丹鱧

国際29期 伊賀元俊

川柳

学生は就活我等は終活か

保険証をかたにとられてマイナカード

あの世での人数増える同窓会

美工28期 寺尾隆志



俳句・川柳募集中!

投稿はこちらから



混声合唱団コーロKSC 30周年記念演奏会

混声合唱団コーロKSC代表 津村 新

コロナ禍のためにお預けとなっていました第13回定期演奏会を4年ぶりに、それも創立30周年の記念すべき年に開催することになりました。私たち混声合唱団コーロKSCは学生・卒業生あわせて180人。毎週月曜日、研修館ホールで練習を重ねています。30年前カレッジ1期生23人の団員で始めた合唱団は、9年目に100人、19年目に150人に達しました。指揮の皆木信治さん、伴奏の阪田みゆきさんの厳しくとも笑いの絶えない指導のもと、老いも若き(?)も元気に仲良く励ましあって、一日3時間歌い続けています。

混声合唱の魅力は、男女の幅広い音域で美しいハーモニーを醸し出すことでしょう。演奏会ではステージに立つ全員が気持ちを一つにし、皆様の心に響く歌をお届けします。



日時：11月4日(土)14時開演（13時15分開場）

場所：神戸文化ホール大ホール **入場無料**

第1部

シニアのヒットメドレー「LOVE」より「愛燦燦」「どうにもとまらない」「恋のバカンス」「瀬戸の花嫁」など8曲

第2部

阪田みゆきピアノ独奏：ショパン作曲幻想即興曲

第3部 30周年記念ステージ

「琵琶湖周航の歌」「サンタルチア」

「ヘッドライト・テールライト」「大河の一滴」など

12年余にわたり団を指導された前指揮者の守屋幸子さん編曲・作曲・作詞された合唱曲

「瑠璃色の地球」、鈴木憲夫作曲「動物たち」

第4部

佐藤真作曲 混声合唱とピアノのための組曲

「別府鶴見火山」

六つの曲から成り、温泉の恵み、火祭りの営み、登山の喜び、神秘と伝説のみずうみ、山の一年が歌われます



なつかしい歌を聴いて思い出に浸り、そして意欲作を楽しむ。心豊かな秋の午後をご一緒に過ごしませんか。

入場整理券は10月10日までにお知り合いのコーロ団



員か、国際29期 津村新(070-5433-9460)、音文29期 宮本真由美(090-6600-9300)までお申し込みください。(お一人様2枚まで)

卒業生に聞く -15年前のシルバーカレッジ-

15年前のカレッジはどんな様子だったのでしょうか。卒業生に当時の様子をうかがいました。お話を聞きしたのは国際15期 高橋 昇二さん。60歳で退職後すぐに入学されたそうです。



「当時の学生はもっと血気盛んだった印象がありますね。今の学生さんたちより年齢が若い人が多かったです。しかも私のいた国際は100人以上の学生が入学しました。みんな元気があふれていました。それに当時は女子学生が今ほど多くなかったです。」

実際この年、国際に104人が入学し、テーブルは3人がけ、学生が教室にあふれていました。男女比は男子67人、女子37人。2対1です。またこの年の平均年齢は66才。今は70才を超えていますから、ちょうど年金支給が繰り下げられた分、年齢が上がっています。

印象に残っていることをお聞きすると、「やっぱり新入生歓迎と3年生歓送交流会でしょうか。当時は食事も出て1日ばかりでした。一生懸命準備したのを覚えています。

グループ学習では、取材と称して海外に研修旅行をしました。私のグループはチベットに10日間行きました。卒業旅行もしました。そのころは卒業記念に旅行に行くのが普通でした。私たちもバスをチャーターして出かけたのを覚えています。」コロナ以前はこんなに制限が少なかったのですね。

最後に最近の生活についてお聞きしましたところ、驚くほど積極的に活動されていました。今年の春、お1人でアメリカ東海岸をレンタカーで周られたそうです。ワシントンD.C.からナイアガラを越えてカナダまで。帰りはニューヨークを経てワシントンD.C.までと、すごい体力ですね。また、今年のクリスマス前にはオーストラリアに、これもお1人でレンタカー旅行される予定とか。

今でも英語クラブのOBとして、現役学生と交流のある高橋さんは、記憶力も体力も本当にしっかりされ、タフなOBさんです。(聞き手 国際29期 伊賀 元俊)

★アンケートご協力をお願い★

私たちの発行する「爽風」は、カレッジの歴史とともに、様々な情報を提供してまいりました。この情報誌をより親しんでいただけるものにするよう、紙面の改善をしてまいります。そしてこのため皆さまのご意見をいただきたいと考え、アンケートを実施いたします。9月末から10月初旬のホームルームでアンケート用紙をお配りしますので、ご記入の上クラスの情報誌編集委員にお渡しください。この際ぜひ、いろいろなお意見をお聞かせください。(情報誌編集委員会)

事務局だより

◆神戸市シルバーカレッジ開校30周年記念講義開催

シルバーカレッジ開校30周年を記念して3年生の共通授業との合同講義を行います。

俳優であり、チャイルドケモサポート基金代表理事でもある堀内正美氏にお越しいただき、「社会貢献何?!」のテーマで、開校時のシルバーカレッジとの深い関わりや、ご自身の俳優活動秘話など普段は聞けないお話をさせていただきます。

日時：令和5年10月16日(月)午前10時30分～12時
場所：カレッジホール

※1・2年生も聴講できます。カレッジ事務局で受付していますのでぜひ、お申し込みください。

◆台風などにおける気象警報発表時の対応

午前8時の時点で神戸市域に気象警報が発表されている場合は、全日臨時休校です。

なお、休校の際は、当校のホームページの「緊急のお知らせ」に掲載します。(http://kobe-sc.org/) 個別の連絡は行いませんので、テレビやインターネットなどの気象警報に注意してください。

◆駐車場定期券の取り忘れにご注意を

駐車場定期券のご利用に際し、料金所で定期券を機械に挿入したあと取り忘れて定期券を紛失するケースが複数発生しています。すでに制度開始後3年近くたちますが、まだ減ってはおりませんので、ご利用時には十分ご注意ください。なお、定期券の再発行には1,000円が必要です。

◆学生募集への協力について

ここ数年、コロナ禍の影響もあり学生数が減少しています。学生数の数はシルバーカレッジの活気にも直結します。

学生の皆さまにおかれましては、来年度入学生の増加に向けて、口コミによる勧誘や案内など学生募集への協力をお願いいたします。

図書室だより

暑い夏休みも終え、いよいよ2学期が始まりました。暑い日もそろそろ収まりつつある今日この頃、読書は心身リフレッシュ効果抜群です。学園祭を控え、皆様それぞれにお忙しい毎日を過ごされていることと思いますが、こんな時こそ読書をお勧めいたします。

また購入希望の書籍がございましたら、図書室備え付けの購入申請書にて、遠慮なくお申し込みください。

<新着図書>

・『ある行旅死亡人の物語』

著者-武田 惇志 毎日新聞出版 (916)

・『クララとお日さま』

著者-カズオ・イシグロ 早川書房(933)

・『気候変動』

著者-ゲルノット・ワグナー 東洋経済新報社(519)

・『地球に住めなくなる日』

著者-ディビット・ウォレ NHK出版 (519)

・『定本 想像の共同体』

著者-ベネディクト・アン 書房工房早山 (311)

・『文豪たちの悪口本』

彩図社文芸部 彩図社 (910)

・『迷わず解決! やさい病害虫ハンドブック』

著者-根本 久 NHK出版 (626)

・『13歳からの地政学:カイゾクとの地球儀航海』

著者-田中 孝幸 東洋経済新報社 (312)

・『世界で最初に飢えるのは日本』

著者-鈴木 宣弘 講談社 (611)

・『牧野富太郎と寿衛』

著者-四条 たか子 宝島社 (289)

※注：出版社名の次にある括弧書きの数字(〇〇)は、図書室の書架番号です。

お詫び

情報誌「爽風」令和5年7月号に掲載しました次の記事に誤りがありました。

8ページ ◆陶芸ボランティアグループの記事執筆者の入学期：(正) 美工29期 (誤) 美工28期

ご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

編集後記

シルバーカレッジは平成5年9月に開校し、本年で30周年を迎えるにあたり、9月号において開校30周年記念特集を掲載しました。また、10月に開催予定の第28回学園祭の準備状況や概要も報告しています。情報誌「爽風」は、5月号で入学式や新入生の入学感想、7月号で新入生歓迎交流会やボランティア活動報告会を報告し、令和5年度は30期生の編集委員と一緒に早くも半年が経過しました。来月の学園祭は1年間で最大のイベントであり、暑い時期にもかかわらず、カレッジの皆さんは行事の準備に頑張っています。次号の「爽風」で学園祭の実施状況を紹介させていただきます。たくさんのお客さまに来ていただき、盛大に開催されることを願っています。

(情報誌編集委員会)

情報誌「爽風」の表紙にみる30年の歩み



創刊号(1994年2月)
誌名「SCコムネット」で創刊

1～10年目(1994～2003年：第1～70号)

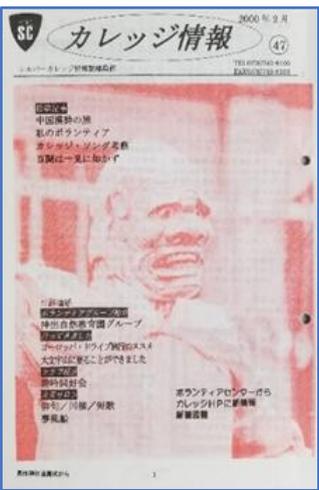
- ・開校から4か月後の1994年2月に「SCコムネット」の誌名で機関紙を創刊。第2号からは誌名を「カレッジ情報」に変更。
- ・1995年1月の阪神淡路大震災による休校に伴い休刊。同年12月(第10号)から発行を再開。
- ・創刊時は表紙がなく、1ページ目から記事を掲載。
- ・第25号から、シルバーカレッジのロゴマークが1ページ目の左上に付き、第47号から黒写真付き表紙の様式となる。



第10号(1995年12月)
2号から「カレッジ情報」に変更



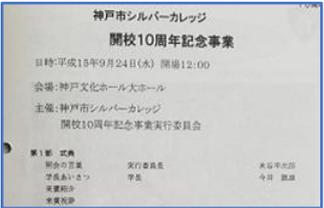
第25号(1997年9月)
ロゴマークが表紙左上に付く



第47号(2000年2月)
写真付き表紙様式となる

11～20年目(2004～2013年：第71～162号)

- ・2003年9月「開校10周年」記念事業を実施。第80号に掲載。
- ・86号より誌名を「College情報」に変更。
- ・第105号より誌名を「情報誌」に変更するとともに表紙に目次を掲示
- ・第127号で学生に新誌名を募集し「爽風」に決定。第130号より「爽風」の新誌名で発行。このときロゴマークの位置を右上に変更。
- ・第141号以降は表紙の写真、絵画が全てカラーとなる。(第120号から140号までは白黒とカラーが混在)



第80号(2003年10月)
10周年記念事業プログラム



第86号(2004年6月)
86号から「College情報」に変更



第105号(2006年7月)
105号から「情報誌」に変更
及び目次の掲示開始



第130号(2009年5月)
130号から「爽風」に変更



第135号(2009年11月)
学園祭の賑わい風景

21～30年目(2014～2023年：第163～217号)

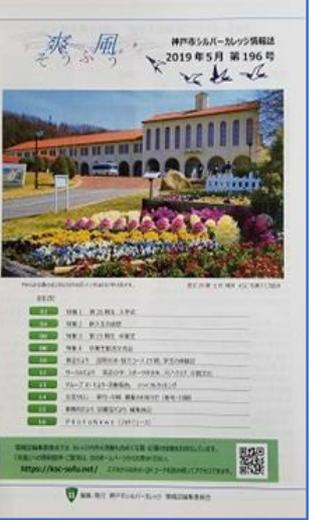
- ・創刊から2010年までは年に9回の発行。2011年以降は年に6回の発行。(震災・コロナ禍の年を除く。特別号を別途発行)
- ・2013年10月「開校20周年」協賛事業を実施。第163号に掲載。
- ・第196号から現在の様式となる。ヘッダー、フッター線が入り、右下にQRコードを、フッター線下の左側にロゴマークを掲示。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年5～9月号を休刊。



第163号(2013年11月)
20周年協賛事業を特集



第170号(2015年1月)
震災関連を特集



第196号(2019年5月)
現在の「爽風」の表紙様式となる



第207号(2021年11月)
コロナ後最初の学園祭